

来週の「売り物」記事はこれ



2014年6月20日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

知られざる[聖火台]物語

国立競技場の灯よ永遠に

22日(日)



陸上、ラグビー、サッカー……。歴史に残る数々の名勝負の舞台となった東京・国立競技場。1964年の東京五輪ではメイン会場となり、上空に描かれた五輪のマークは、文字通り国際社会への復帰と、高度成長の幕開けのアイコンでした。国立競技場は58年の完成から56年を迎えた今年5月、その歴史に幕を下ろしたのです。閉場の式典を感慨



深げに見守っている人たちがいました。国立競技場のシンボル、聖火台を手がけた職人とその家族です。「命がけの仕事だった」と、当時を振り返ります。そして、彼らはいまでも毎年、ハンマー投げの室伏広治さんと一緒に聖火台を磨き続けてきました。手ぬいで一拭きするたびに万感の思いにかられるといいます。「聖火台」めぐる家族、そしてアスリートのドラマを描きます。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

「忘災」の原発列島

巨大噴火への備えは十分なのか

夕刊2面特集ワイド 26日(木)



原発再稼働の「第1号候補」である九州電力川内原発の安全審査が大詰めを迎える中、巨大噴火への対応が大きな焦点となっている。巨大噴火の発生は極めてまれだが、稼働中の原発が高温の火砕流に覆われるなどしたら、放射性物質の大量放出を止める手立てはないからだ。巨大噴火が迫った場合には運転を停止して核燃料を取り出すとされているが、十分な研究も進んでいない巨大噴火を確実に予知することできるのか、十分な対策は取れるのか。尽きない疑問を追った。

「女の気持ちをたずねて」

おんなのしんぶん面 23日(月)

おんなの
しんぶん

東京都墨田区の山下洋子さんは、周囲の助言などから80歳を機に大好きな車の運転をやめることにしました。次男を乗せて、広島まで行ったこともある思い出の車。やめる理由について、山下さんは「ほかにもやりたいことがあるから」と話します。その理由とは……。



犬の暑さ対策

くらしナビ面 21 日 (土)



体温調整が難しい犬にとって、暑さは大敵。汗をかいて体温を下げることができず、また、より温度の高い地面近くで過ごしているため、人間より熱中症になりやすいのです。暑い日の散歩は、肉球をやけどする危険性もあります。犬の健康を守るための対策を専門家に聞きます。

孫とつながるツール

くらしナビ面 23 日 (月)

かわいい孫も、遠くに住んでいると、会いたくてもなかなか会えませんね。今、デジタル技術の普及で、一昔前は夢だった「テレビ電話」が手軽にできるようになり、声だけでなく、動画で成長ぶりを確認できます。離れた孫とも気軽にやりとりできる、通信機器や各種サービスについて分かりやすく紹介します。



インサイド

「エディー・ジャパンの挑戦～ラグビーW杯に向けて」

24 日 (火) から 3 回



5月のアジア5カ国対抗で優勝し、来年秋のワールドカップ(W杯)イングランド大会出場を決めたラグビー日本代表。優勝請負人・エディー・ジョーンズ氏＝写真＝をヘッドコーチに迎え、目標は「W杯のベスト8」に上方修正されました。昨年6月にウェールズに、今年5月にはサモアに勝利するなど、強豪国にも勝てるレベルにまできたエディー・ジャパン。徹底したストレンクス&コンディショニング重視で3部練習を導入した指導法、若手の台頭とベテランの融合……。ジョーンズコーチ就任以来のチームの歩みを振り返るとともに、今後への課題を描きます。